

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

車両、什器備品・・・法人税法に定める定率法及び旧定率法によっている。
リース資産・・・・・・・・所有権移転外ファイナンス・リース取引に係る資産についてはリース期間を耐用年数とし、残存価格をゼロとする定額法によっている。

(2) 引当金の計上基準

賞与引当金・・・・職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込み額のうち今期に帰属する額を計上している。

退職給付引当金・・退職規程に従い期末要支給額から勤労者退職金共済機構・中小企業退職金共済事業本部への積立額を控除した額を引当計上している。

(3) 消費税の会計処理

税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	15,000,000	0	0	15,000,000
小 計	15,000,000	0	0	15,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	6,286,084	511,556	0	6,797,640
事業推進積立資産	24,275,859	49,104	0	24,324,963
コンサート事業積立資産	1,200,000	800,000	0	2,000,000
小 計	31,761,943	1,360,660	0	33,122,603
合 計	46,761,943	1,360,660	0	48,122,603

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	15,000,000	(15,000,000)	(0)	(0)
小 計	15,000,000	(15,000,000)	(0)	(0)
特定資産				
退職給付引当資産	6,797,640	(0)	(0)	(6,797,640)
事業推進積立資産	24,324,963	(0)	(24,324,963)	(0)
コンサート事業積立資産	2,000,000	(0)	(2,000,000)	(0)
小 計	33,122,603	(0)	(26,324,963)	(6,797,640)
合 計	48,122,603	(15,000,000)	(26,324,963)	(6,797,640)

4. 固定資産の取得価額，減価償却累計額，当期除却高及び当期末残高は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価格	減価償却累計額	当期除却高	当期末残高
車両運搬具	1,730,180	1,730,178	0	2
什器備品	9,114,784	8,996,346	2	118,436
リース資産	5,346,360	1,631,208	0	3,715,152
合 計	16,191,324	12,357,732	2	3,833,590

5. 補助金等の内訳ならびに交付者，当期の増減額及び残高は次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
勤労福祉向上事業補助金	福山市	0	1,500,000	1,500,000	0	—
芸術文化事業補助金	福山市	0	3,060,000	3,060,000	0	—
合 計		0	4,560,000	4,560,000	0	